

長崎高教組新聞

発行
〒850-0013 長崎市中川2丁目2番5号
長崎高教組会館
長崎県高等学校教職員組合
☎ (095)-827-5882
FAX (095)-826-2976
編集責任者 大橋 雅信
購読料 一部10円
組合員は組合費に含む
メールアドレス
naga-kks@fslinet.or.jp

長崎高教組第215回定期中央委員会開催！ 職場集会を開催し、全員で組織強化・拡大の意思統一をしよう！

長崎高教組は、1月26日(土)、大村市民会館で第214回定期中央委員会を開催しました。県内各地から、専門部役員1人、中央委員47人の計48人が参加しました。

開会宣言の後、大場執行委員長が挨拶に立ち、「教職員が競争と管理で追い立てられ、ますます子どもと向き合えなくなっている状況がある。長時間の時間外労働、数値化を強要する評価制度、不当な賃金切り下げなど

教育と教職員を取り巻く状況の悪化は、安倍政権が押し進めている憲法改悪と無関係ではない。安倍政権は、憲法改悪、大企業優遇、アメリカ追従の政治を強行しやすくするため、安倍『教育再生』で政府・文科省にもを言わぬ教職員づくり、政府に従順に従う国民づくりをねらい、教育を変質させようとしている。この状況のなかでも、長崎高教組は、子どもが人間として大切にされる『子どもが主人公の学校』づくりのため、働きやすい職場の実現のために奮闘している。状況は厳しいが、今こそ組合員が教職員の先頭に立ち、安倍『教育再生』を許さない世論を大きく広げよう。そのためには組織強化・拡大が必要だ。ぜひ職場集会を開催して、全員で組織強化・拡大の意思を確認しよう」と呼びかけました。



その後、執行部から、昨年の定期大会以降の取り組みの総括、2014年春闘方針、今年6月の定期大会までの活動方針、暫定予算などの提案をおこないました。

これを受けて、組織拡大・強化、憲法、民主主義、生活・権利、民主的教育の確立など分野ごとの討論が行われ、延べ30人が討論に立ちました。討論では、組織強化・拡大のとりくみ報告、憲法・平和・民主主義の発言が集中し、現在の情勢の中での高教組が果たすべき役割を確認するとともに、組織拡大・強化のために積極的にとりくむ場となりました。

討論終了後、議案の採択がおこなわれ、すべての議案が満場一致で採択されました。以下、討論の概要を紹介いたします。

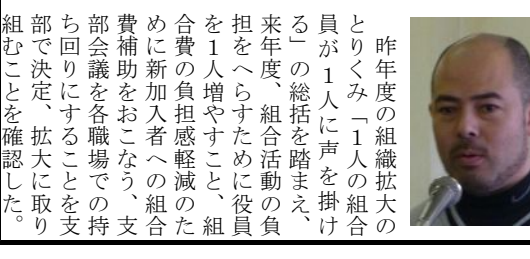
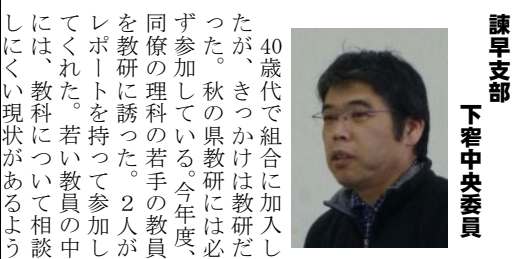
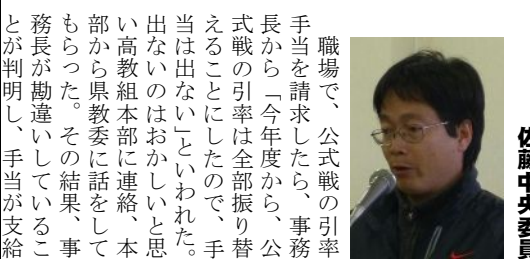
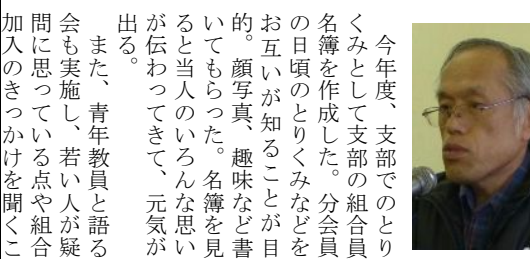
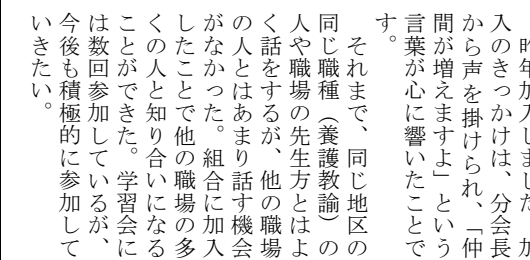
昨年加入しました。加入のきっかけは、分会長から声を掛けられ、「仲間が増えますよ」という言葉が心に響いたことでした。

今年度、支部でのとりくみとして支部の組合員名簿を作成した。分会員の日頃のとりくみなどをお互いが知ることが目的。顔写真、趣味など書いてもらった。名簿を見ると当人のいろんな思いが伝わってきて、元気が出る。

また、青年教員と語る会も実施し、若い人が疑問に思っている点や組合加入のきっかけを聞くことができた。若い教職員が参加できる行事を考えたいことで、クラスづくりの学習などを盛り込んだ支部教研の実施へと繋がった。

40歳代で組合に加入したが、きっかけは教研だった。秋の県教研には必ず参加している。今年度、同僚の理科の若手の教員を教研に誘った。2人がレポートを持って参加してくれた。若い教員の中には、教科について相談しにくい現状があるように、とても勉強になったと喜んでいただけました。組合については、焦らずに少しずつ話をして組合のことを理解してもらえようと思った。加入を勧めたい。

13年度の教員採用試験対策学習会は、1次試験対策、2次試験対策・面接を3回に分けておこなった。参加者の5人が合格した。その1人ひとりに加入を呼びかける手紙を送っている。合格者の分会では、是非声かけをお願いしたい。



女性部学習会で西岡由香さんの講演を聴いた。町のエネルギーを、自然エネルギーで100%まかなっている高知県梶原町の話を聞いたので、女性部でその町への旅行計画を立てている。3月31日〜4月1日の日程。高知で1泊の予定。女性部ツアーとして、呼びかけるところ。10人くらい参加を集めたい。

老岐支部では、加入したら、1年間は組合費を1000円分、支部から補助することを決めた。この方針を受けて、リーフレットを10部送ってもらい「声かけ」にとりくんだ。

老岐高校では3人に声をかけた。「組合員が少ないので、組合の運動を広げられなくて困っている」などと訴えている。今のところ反応ははないが、加入のきっかけとなるのではないかと期待している。話すきっかけを作る必要がある。

福井でおこなわれた教組共闘組織拡大交流集会に参加した。その中で、「新卒者3年目までの人に声を掛ける」、「駐車場に声を掛け、拡大が実現」、「悩みを聞くこと」で拡大に繋がっている、「弁当を食べながら声を掛けていく」などの報告が参考になった。人との対話がいかんが大切であるかという点も改めて感じた。対話を広げていく必要がある。

また、実習教員採用試験対策学習会もおこなった。実習教員採用試験の合格者にも呼びかけをお願いしたい。

組織強化・拡大について

対馬支部 近藤中央委員

島原支部 柴田中央委員

佐世保支部 佐藤中央委員

佐世保支部 池田中央委員

諫早支部 馬場中央委員

喜岐支部 横山中央委員

島原支部 浦本中央委員

佐世保支部 井野口中央委員

本部 今泉執行委員

生活・権利題、教育条件について

大村支部 濱本中央委員



定通部の学習会でスクールソーシャルワーカー(SSW)の話聞いて、学校にはSSWが必要だと感じた。子どもが抱えている問題解決のために学校と家庭の間を取り持つてくれるのがSSW。今年度の確定交渉に参加して、高校へのSSW配置について要求し、前向きな回答が得られた。各学校でも、SSWを積極的に活用するとりくみを広げてほしい。

佐世保支部

佐藤中央委員

「おおとり運送」労働争議の件で、お礼と報告をします。佐世保支部は主體的に支援をしているが、県労連、高教組全体で支援の協力をしてもらいたい。大変助かった。6月の定期大会でも、おおとり運送労働組合員の支援の訴えに、多数の高教組組合員が協力してもらったことを感謝しています。

対馬支部 田中中央委員

佐世保支部

池田中央委員



虹の原特別支援学校対馬分教室に勤務しているが、特定秘密保護法の強行、尖閣諸島、竹島問題などで、対馬は、中国・韓国との対立で特に敏感になっている。このような時期に安倍首相が靖国参拝をおこなったことは対立をいっそう際立たせる行為だ。今の状況は、「戦争のつくり方」という本の内容を思い出させるものだ。日常的な些細なことだからにはまっぴら気がついたら戦争に参加することに繋がったという内容。家族に安倍政権の言動・行動を含めた今の状況の問題を話したが、よくわかっていない。

普通、人は物事が少しずつ変わっていてもほとんど気がつかないものだ。頭をそったのに、そのことを妻が気がつかないことが多かった。このことがわかる。(日本が戦争する国に向かって)少しずつ変化している中で、その変化に気がついていない国民が多いことに恐ろしさを感じる。このことを生徒にも伝えたい。3・29中央行動には是非参加したい。

大村支部 鳥丸中央委員



都知事選では「原発ゼロ」も争点とされているが、都知事選の結果は日本の将来を左右する転換点だと思っている。子どもが女界原発の見学会に行つて、その感想文に「原発反対の内容を書いた」ということを話したので、自分の思いが子どもにも影響したのかなとも気になったが、新潟県巻町の原発誘致問題では、地域住民が対立、家族の中でも対立が起こり、最後は誘致反対派の町長が当選した。住民の中にはわだかまりが残つたが、先の東日本大震災の福島原発事故で、原発

誘致に反対したことが正しかったことを住民も理解したと思う。正しいことをわかせるまでには時間がかかると思うが、伝えなければいけない。安倍首相の行動をただしていくことが必要だ。

朝会の連絡の中で、月曜日がアウシユビツツの解放の日だったことを知らせた。つい最近も、自衛隊の韓国への銃弾供与があり、憲法違反の「武器輸出」に相当するとも言えることがおきていて、戦争への足音が聞こえてきているようだ。私たちが教師の役目として生徒にはしっかりと伝えなければならぬ。

ときに、全国から集まった人たちが声をかけ合いつながり励まし合つていたことを思い出した。闘いが人々の団結を生む。秋山豊寛さんの「負けられないから闘うんだ」の言葉が忘れられない。今しかない闘いを続けよう。今年度で定年退職になるが、3・29中央行動には是非参加したい。

本部 小田副委員長

「3・29」では長崎高教組でとりくんだ成果を集会に持ち寄り、全国の仲間とともに集会を成功させたい。集会に持ち込む「怒りの龍の作成」について提案したい。各分会・個人で憲法改悪反対の思いを書いた龍の鱗の作成に取り組んでほしい。私たちの逆鱗に触れる憲法改悪の企みに、鉄槌をくだす一言を是非お願いしたい。

単身赴任手当が出る要件には、「距離」だけでなく、「公共交通機関で2時間以内に通動できるかどうか」という要件もある。島原工業では、その要件で単身赴任手立てが出たようになった。

佐世保 吉村中央委員



特別支援学校で遠距離通勤が増えている。その中で、交通事故が増えたり、脳疾患で倒れる人も出ている。また、管理職が「多忙感」の言葉を使うが、これは職員の実際的な多忙を「感」としてごまかそうとしているのではない。

希望ヶ丘特支の生徒の現場実習中に教師が車で見回らない実態がある。普段車を運転しない教員にとってはストレスだ。

諫早 地引中央委員



希望ヶ丘特支の生徒の現場実習中に教師が車で見回らない実態がある。普段車を運転しない教員にとってはストレスだ。

民主教育の確立について

本部 寺田執行委員

夏の教研、秋の教研の参加大変ご苦労様でした。参加人数は例年と変わらない状況でしたが、「内容の濃い教研だった」と教文推進会議では総括しています。2月の冬の教研では、大規模普通高

校の学力・進学問題をテーマに開催します。講師として、元日高教副委員長 長小池由美子さん(現埼玉北高校勤務)に来てもらつて「学びの共同」という論題で講演をさせていただきます。

3月で定年退職となるが、現在の日本の状況には不安を抱えている。安倍政権は、今中央委員会で

安首首相は憲法を改悪しようとしている。秘密保護法の強行はその始まりだ。秘密保護法が施行されれば私たちの生活は破壊されるだろう。年末の長崎駅高架広場での秘密保護法反対集会に参加して、施行には絶対に反対しなければならぬ。10年前の消費税反対中央行動に参加した

実教の採用試験対策学習会が本部で開催されたが、同じ職場に受験希望者がいたので、職場でも何回か学習会を開いた。その結果、一次試験の合格して、非常に喜んでいて、各分会でも、実教の採用試験受験希望者のための学習会を広げてほしい。

本部 小田副委員長



小池さんの授業の展開

この1年間いろいろな問題が起こっている。秘密

反対中央行動に参加した

希望ヶ丘特支の生徒

現場実習中に教師が